

「アスリートの派遣等による体育授業等の充実・高度化の促進事業」

日 時：①令和6年(2024年)9月10日(火)13:20~15:10【稚内市立宗谷中学校】

②令和6年(2024年)9月11日(水)13:15~17:35【利尻町立利尻中学校】

対象者：①全校生徒 31名 ②全校生徒 34名

宗谷管内の中学校2校において、スポーツ庁主管・日本テレビ運営の学校訪問事業「アスリートの派遣等による体育授業等の充実・高度化の促進事業」(通称：アスリーチ)が実施された。

本事業は今年で2年目となり、児童生徒がアスリートと直接的に触れ合い、運動の多様な楽しみ方やできる喜びを味わうことを通して、望ましい運動習慣の形成や体力向上・運動能力向上を目的としている。

また、学校現場で活用できる教材や指導事例などの普及により体育・保健体育の授業や運動部活動の質の向上も目指している。

① 稚内市立宗谷中学校「ソフトボール授業」【講師：元プロ野球選手 本間 満 氏】

令和6年9月10日(火)、留萌市出身で元福岡ソフトバンクホークスの内野手として活躍した本間 満さんが稚内市立宗谷中学校を訪問され、全校生徒を対象とした保健体育の授業が行われた。

授業では、本間さんの紹介の後、生徒から質問を受ける時間があり、現役時代の体験談やモチベーションを上げるための方法のほか、食事のことや野球以外のことにもわかりやすく丁寧に答えていただく場面があった。

本間さんからは、全校生徒に対して「上手だから野球をしているのではなく、楽しいから、好きだからであり、今の夢は80歳まで野球をすること。皆さんも、色々なことにチャレンジし、早く自分の好きなこと見つけてほしい。」というメッセージが送られた。

その後、グラウンドでソフトボールの実技指導が行われた。

バッティング練習では、基本的な動作などを学び、一人の生徒に対するアドバイスを、周囲の生徒も一緒に耳を傾けて聞くなど、本間さんから多くのことを学ぼうとする生徒の姿が見られた。

また、試合では、ピッチャーとなった本間さんからヒットを打った生徒をみんなで祝福したり、守備でエラーをした生徒を励ましたりするなど、生徒の笑顔が溢れる授業となり、本間さんの指導により、運動の楽しさを全員で共有することができた。



② 利尻町立利尻中学校「バレーボール授業」【講師：元Vリーガー 大山 未希 氏】



令和6年9月11日(水)、元東レアローズのセッター、ビーチバレーボール選手として活躍した大山 未希さんが利尻町立利尻中学校を訪問され、全校生徒を対象とした保健体育の授業が行われた。

授業では、大山さんの紹介の後、ボールを使った体づくり運動や基礎練習、ミニゲームが行われた。

大山さんからは、「ボールをつなぐ意識が大切」との話があり、どのようなパスをすることが大切か、どのような声かけが必要かなど、相手を思いやるプレーを心がける生徒の姿が見られ、体育館には、互いにアドバイスをし合ったり、励ましの声を掛け合ったりする生徒の音が響き渡っていた。

その後、生徒から質問する時間となり、「バレーボールをやっていて一番よかったことは何か」の質問に対して、大山さんは「仲間ができたこと。嫌なこともバレーボールやその仲間がいたから頑張れたので、仲間を大切にしてほしい。」と話をされていた。

最後に、大山さんから全校生徒に対して「体も心も強くなれるところがスポーツの良い所。失敗を恐れずに、様々なことにチャレンジしてほしい。」というメッセージが送られた。

放課後は、バレーボール部員に対して様々な練習方法を紹介していただいた。また、ここでも互いに声を掛け合うことの大切さについて繰り返し話をされていた。